



オリーブ通信

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu>

2015年
10月号
2015.10.24発行



オリーブ日本語教室による外国人居住者のための防災講座 ——2015.10.3——

恩地さん、内田さん、堀野さんが立案、作成された資料を使い、私が講師役をしました。堀野さん作成のパワーポイントは図、写真、動画を中心に構成されていたので非常にわかりやすく、生徒さんたちも理解しやすかったのではないかと思います。台風、火事、地震について行いましたが、やはり一番重点をおいたのが地震についてです。消防署から避難持ち出し袋まで借用したくらいですから。一方的に先生が話すだけでは生徒さんも退屈で身にも付かないだろう、ということで聞く人にも考えてもらう内容を入れました。

一つは今地震が起きたらどうするか、で実際に動いてもらう。もう一つは非常持ち出し品を何にするか考えてもらうことです。講義の途中で「はい、今地震が来ました～。皆さんどうしますか?」と行動を促しました。机の下に潜るのが正解ですが、中には教室から出て行った生徒さんもいました。これはやはり建物が地震で倒壊するだろうから外に出よう、という意識です。我々日本人だと、日本の建築物は耐震構造になっていて発生直後は中のほうが安全だと分かっていますが、地震のない国だとどうすればよいかわからない人もいるのは当然でしょう。机の下に隠れる→火を消す→ドアや窓を開ける→…という順番を説明しました。



さて、非常持ち出し品に何を準備しておくか? 最優先は3日程度自力で生き延びるのに必要な水、食料を用意することなのですが、「パスポート」「外国人登録証」と言うような外国人ならではの回答もありました。寝る場所の近くに靴を置いておく、というのはなるほどと思われたかもしれませんが。日本人でもそこまでやっている人は少ないのではないのでしょうか? 実はこの翌週の10/10に、草津の込田公園で防災体験が消防署主催で行われそれにも参加してきました。この時、地震体験車に乗って東日本大震災クラスの震度7を体感しましたが、実はこのレベルだと現実的には揺れに身を任せるだけで何もできません。机の下に隠れましょうなどと講義しましたが、それすら不可能です。揺れのため自分の意志で体も動かさず。まずテーブル自体が動いてしまいます。地震体験車のテーブルは床に固定してあったのですが、椅子にすわってそれにしがみつくのが精一杯でした。実際は家の中にしがみつけるような安全な固定物はないので、大地震がきたら揺れがおさまるまでなすすべがない、というのが実感です。せいぜい、寝る所には倒れてくるような背の高い家具は置かないのが自己防衛になるのかな、と思いました。

皆さんも機会があれば地震体験車に乗ってみてください。頭でわかっているのと体験するのではまったく違います。2週を通じて私自身にも役に立った防災授業や体験でした。(レポート 豊村 信良)

中川先生のへんてこ日本語

63

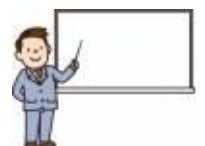
ハンパない

「今日はハンパじゃないほど暑いね」と学生に言ったら、「ハンパないと言ってください」と訂正された。

「ハンパ」が「中途半端」から来ていることは明らかであるが、「中途半端じゃないほど極度に、異常に」の意を表すのであれば、「中途半端な時間」「ハンパな仕事」などの否定形は、「中途半端じゃない」「ハンパじゃない」が文法的に正しいはずだが、文法通りにいかないところに若者言葉の特徴がある。「この暑さはハンパない」「ハンパないほど寝た」のように使うようだ。「信じられないほど/これまでに経験したことがないほど」などと、「どこがどうすごいのか、その程度をいちいち説明しなくても、「ハンパない」で、若者間では共通認識が得られるようだ。さらに程度がものすごいことを表すには、「まじハンパない」「ガチでハンパない」のように表すらしい。

確かに、ものの程度を形容しなくてもいいのは便利である。よく似た使い方に、「めっちゃ/超」があるが、「めっちゃ暑い」と言われても、「非常に暑い」ことは分かるが、「息苦しいほど暑い」のか「我慢の範囲内ではあるが、とても暑い」のかは伝わりにくい。「ハンパなく暑い」と言われても、暑いことは暑いにしても、経験的知識から暑さを測るのはむずかしい。

もはやこうなると、「ハンパない」は、新しい言葉として扱った方がいいようだ。「くじやない」の「じゃ」が悪者扱いされたようで、邪(じゃ)悪な感じがする。若者言葉は、ハンパないほどむずかしい。



京都外国語大学 日本語学科教授 中川良雄

コーヒー派？お茶派？

皆さんはコーヒー派ですか？それともお茶派？



私は断然お茶派です。コーヒーを淹れるときのあの香りも嫌いではないですが、やはり私にはお茶が性に合うようです。私がお茶を好きになったきっかけは、十数年前、留学先の中国北京で出会ったジャスミンティーでした。単にのどを潤すだけでなく、日頃のストレスを優しく癒してくれる香りと口当たりにはハマってしまい、それからというもののお店や旅先で知らないお茶に出会う度に試すようになりました。

ここ数年毎年台湾へ行っているのですが、必ずお茶屋さんには立ち寄ります。台湾のお茶屋さんのご主人は優しくてサービス精神旺盛な方が多く、店内のお茶を惜しみなく試飲させてくれます。お茶を囲んでご主人や他のお客さんと話が弾み、気が付けば2時間以上経っていたなんてこともしばしば。そんなお茶屋さんのご主人はよくこうおっしゃいます。「お茶が好きな人は皆友人です。」中国語には「茶縁（お茶がとりなす縁）」という言葉があり、ご主人はお茶を介する出会いをととても大事にしているのです。素敵だと思いませんか？

この前日本語教育を通じた外国人との交流の場で新しいお茶と出会いました。ベトナムの方からアンティーチョーク茶をとハス茶をいただいたのです。ベトナムというとコーヒーのイメージでしたが、お茶も美味しかったです。新しい発見でした。

こんなお茶好きな私ですが、周りにはなぜかコーヒー派が多く共感してくれる方があまりいません…お茶好きな方、私とお茶談義に花を咲かせませんか？

(鈴木広美)

バングラデッシュに行ってきました!!!



オリーブの学習者のアシャドラさんに「バングラデッシュに来ませんか?」と誘われてからインターネットでバングラ（以後バングラデッシュをこう表現します）の情報を得たりして自問自答しながら考えること3カ月、好奇心旺盛な私はバングラの友人にも会いたいし結局行くことにした。「友達にバングラに行くよ。」って言うと、ほとんどの人が「なんで???」と聞いてくる。『世界一貧しい国の一つ』を体感してくるのもまあいいか。0:30a.m.関空発バンコク経由 12:10p.m.ダッカ着。出迎えてくれた友人と彼の家へ。何と family10 名で暮らしている。

早速歓迎のランチをいただく。まさにカレー三昧。翌朝4時半頃マイクから流れてくる大きな音で目が覚める。イスラム教の国には欠かせないお祈りの時間を知らせるアナウンス。「ああ、私はバングラにいるんや」... 3日目にアシャドラが迎えに来てくれてインドとの国境に近い彼の故郷 MEHERPUR (メヘルプール)へ、バスに揺られる事8時間。バスを降りてリヤカーにスーツケースと私達を積んでナズニン (アシャドラの奥さん) の待つ家へ。彼女とも3年ぶりの再会。今はもう1児のママになっている。ここには3泊の予定だったが、ある事情で5泊することになった。今日はどこの家に行く?明日は?という風に



(トフィクル一家)

近所にお邪魔しては皆の生活ぶりを見せてもらったり、そのうちに近所の人たちや子供たちが私の顔を見に（会いにじゃなく）来たりして毎日を過ごすことになった。観光はほとんどせず、でもどの家に行っても大歓迎。特に子供たちの人懐っこかったこと! ナズニンのママは朝早くから火を起しチャパテイというナンのようなものを作ります。これの美味しかったこと!!! 村では牛、ヤギが当たり前のようにそこらじゅうを歩いている。アシャドラが「一番貧しい人の生活を見たい?」というので「はい。」と答える。連れて行ってくれたそこには簡単なバラックの家らしきものがあり下には家畜が、その上がベッドになっていてそこで寝るそう。



(ナズニンのママ)

水は井戸から、燃料は牛糞を棒のようなものに巻きつけて乾燥させたものを使ったりと自然と共存しながらの彼らの生活を垣間見ることができた。さて6日振りにダッカに戻ったが、ダッカの町のうるさいこと。人、人、人、車、車、車、無数のリキシャ、騒音、車の渋滞、道路両サイドのゴミ、富、貧いろんな物が混ざり合った町。みんな一生懸命生きる。もしかしてこの風景は5年後10年後も変わらない?そんな気がする。なかなか行く機会のない国、チャンスをくれてありがとう、アシャドラ!!! (重松叡子)



(ナズニンの家族)



(近所の子ども達)



(緑地に赤の国旗)

PS:日本の国旗は白地に赤です。似てると思いませんか。

だんじりの血潮みなぎる岸和田の男衆の秋は燃え立つ熱く

ケンジ

(注釈) 生徒のみなさん、お元気ですか？

日本の秋は、いろいろなお祭り(フェスティバル)があります。私が一番大好きなのは、大阪の南部にある「岸和田のだんじりまつり」です。外国人の観光客も多いです。見ているだけでエキサイティングですので、来年は私と一緒に見に行きましょう！ (中村健治)



(岸和田だんじりまつり)



—オリーブ班紹介その5—

N2合格を目指して勉強している班です。

学習者はインドネシアのメイディさん、ベトナムのタインさん、韓国のキムさん(女性)の3人です。三人ともほとんど休まずにオリーブに通って来られ、私もやりがいがあります。漢字圏以外の生徒さんにとって、N2の読解が難しいそうですので、文法対策の他に、漢字プリントの宿題をだし、時々テストをして自信を付けてもらっています。余談になりますが、9月末、ある生徒さんが公園で知り合い、親しくなった親子連れに誘われて、小学校の運動会に行った時のことです。昼食時、おにぎり、海苔巻、卵焼き、その他おかずの一杯入ったお重から取って“食べてください”と言ってくださったそうです。外国人に対して、家族と一緒にのお重を進めて下さるなんて、日本人って本当に優しいなあと大感激したと話してくれました。来日された方が、職場や日本語教室、その他、多くの体験から、日本に来た時より、もっと日本を好きになって帰国してもらいたいと常々願っていますので、この話をとてもうれしく聞きました。

この年になって、外国の若い方々と交流できるのも、オリーブのお陰と感謝しています。(担当：田中一美)

日本語能力検定試験3級合格

おめでとう!!!



(フンさん)

みなさん、日本語の勉強はどうでしょうか。私はオリーブの先生たちのおかげで7月の日本語能力試験3級に合格しました。うれしかったです。皆さんの結果はどうでしたか。もし合格しなかったら12月もありますよ。一緒に頑張りましょう。日本に来てからオリーブで日本語を勉強し続けるのは良い事ですね。



(左からメイディさん、田中先生、タインさん、キムさん)



受付の目



「中国人は信じてよし！」

受付で、ある中国人の生徒さんに、「先生、髪切りましたか？とてもいいです！」と言われました。最近そんなことはもう言われなくなった私は、社交辞令でも嬉しいなと思っていました。しばらくして、その生徒さんの学習テーブルに行くと「ねえ0先生、小春先生の髪は前よりいいですね？」とまたまた言われました。「ほめるのがお上手ですね。」と返すと、0先生が「中国人はお世辞を言わないから、本当にそう思ってるのよ」と教えてくれました。ますます嬉しくなった私。今度、お土産買って来なくっちゃ！と密かに思っています。(笑)



(小春 京子)



先月の活動 (9月)

日本語教室 9/5(M),12,26(3回)
 「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
 ネットワーク会議 9/7(月)(恩地)
 「生活者としての外国人」のための日本語教育事業オリ
 ーブ内打合せ 9/20(日)(内田・恩地・豊村・堀野)
 まちセン運営協議会施設部会 9/8(日)(田中一)
 まちセン研修部会講演会参加 9/25(金)(田中一)
 BNN日本語指導者養成講座 9/6,9/13(日)(佐野)

●日本語教室の(M)は定例ミーティング



今月の活動(10月)

日本語教室 10/3(M),17,24,31
 「生活者としての外国人」のための日本語教育事業文化
 庁と会談 10/2(金)(恩地)
 「生活者としての外国人」のための日本語教育事業①
 “防災授業” 10/3(土)
 まちセン運営協議会全体会議 10/6(火)(田中一美)
 BNN会議 10/24(土)(佐野)

●()内は参加者、または参加予定者。敬称略



参加人数(9月)

	9/5	9/12	9/26
先生	20人	18人	17人
生徒	20人	32人	31人



会員の動き(9月)

(入会) なし
 (休会) なし
 (退会) なし
 (賛助会員) なし



お知らせ

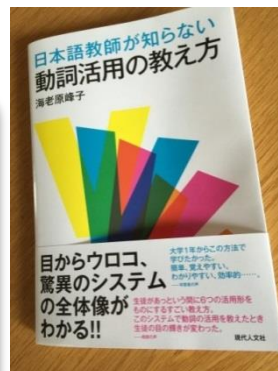
オリーブ恒例秋の遠足

三重県伊勢志摩に決定!!!

日時: 11月8日(日)

伊勢神宮。おかげ横丁。海など。

草津まちづくりセンター前集合



動詞活用の間違った教え方
 —「ます形」から教えてはいけないワケ—
 という本が出版されています。「みんなの日本語」での教え方に慣れている私達には本当に目からウロコ?さて興味のある方は本屋さんで立ち読み、もしくは座り読み(最近の本屋さんにはイスが置かれてるところもあります。)でもして下さい。



繋げよう! 交流の輪

第8回世界と出会う交流広場

2015.11.8(日) 10:00~16:00

(会場) 矢橋帰帆島公園

(問い合わせ) NPO 法人滋賀ものづくりネット
090-1962-4800 (担当: ウラタニ)



第2回クサツハロウィン

10.25(日) 10:00~草津駅前商業エリア一帯にて開催
クサツハロウィン実行委員会(草津市国際交流協会内)



インドネシア語講座始まる!!!

講師: Baenur (バエヌルさん) オリーブ学習者

日時: 11/15 11/22 11/29 12/13 12/20 各日曜日 10:00~11:30
問い合わせ先: 湖南省国際協会 TEL&FAX:0748-71-4332

kia@gaia.eonet.ne.jp



編集後記: もう今年も後2か月、年々1年の過ぎていくスピードが増しているように思われる(年のせい?) 海外に日本語教師として羽ばたいてく人、3年間の研修を終えて母国に帰国する人。かと思えば、研修や勉強のため来日する人。出会いがあればいつかは別れもやってくる。しかしインターネットのある現代では、別れは昔のようにもう2度と会えないという訳ではない。フェイスブック(FB)もある。72億人という広~い地球の中から出会ったあなたと私、オリーブ日本語教室で出会ったあなたと私、みんなこの出会いを大切にしましょう。(S.E)